

# 明石市のやさしいまちづくり

～ これまで、今、そしてこれから ～

資料 1 - 1

## 2012 (平成 24 年度)

明石市基幹相談支援センター兼障害者虐待防止センター発足(10月)

## 2013 (平成 25 年度)

後見制度支援連絡協議会設置(後見センター設置に向けた意見交換、5月)

アートシップあかしの初開催(12月)

障害者採用試験と障害者施策専門職採用試験の実施(2月)



2015年4月  
手話言語・障害者コミュニケーション条例施行

## 2014 (平成 26 年度)

福祉総務課に障害者施策担当新設(4月)

障害者差別解消啓発市民フォーラム開催(6月)

手話言語・障害者コミュニケーション条例検討会の開催(9月～11月で4回)

あかしユニバーサルフットサル連盟発足(9月)

手話言語・障害者コミュニケーション条例制定(3月)



## 2015 (平成 27 年度)

あかし後見支援センターの開設(4月)

障害者配慮条例検討会開催(5月～11月で4回)

市職員のユニバーサルマナー検定の実施(5月～)

障害者差別解消啓発市民フォーラム開催(6月)

市内小学校で手話体験教室を実施(10月～)

あかしヒューマンフェスタを障害者のコミュニケーションをテーマに実施(11月)

障害者差別解消啓発市民フォーラム開催(12月)

タブレットによる遠隔手話通訳サービスを開始(1月～)

障害者採用試験の実施(1月)

2016年4月  
障害者配慮条例施行  
合理的配慮の提供を支援する公的助成制度スタート

## 2016 (平成 28 年度)

全国で初めて、合理的配慮の提供を支援する公的助成制度スタート(4月)

障害者差別解消支援地域協議会の開催(5月～)

市民タウンミーティングを市内4カ所で開催(7月)

事業者向けユニバーサルマナー検定の実施(9月～)

障害者団体が連携してホームドア早期設置に向けた署名活動を実施(11月～)

障害者採用試験の実施(12月)

手話フォンの設置(2月)

市管理職向け障害理解研修と民間事業者との意見交換会の開催(2月)

2017年12月  
共生社会ホストタウンの第一陣に指定される

あかしユニバーサルモニター制度スタート(2月～)

市民参加型のパラスポーツ体験交流イベントを実施(3月)

## 2017 (平成 29 年度)

あすく(障害当事者等団体連絡協議会)設立(6月)

電話ルーサービスのモニター実施(7月～)

要約筆記啓発講座の開催(10月)

こどもユニバーサル交流会の開催(11月)

やさしいB-1グランプリ(西日本大会)の実施(11月)

障害者採用試験の実施(12月)

手話フォンの設置(2月)

市管理職向け障害理解研修と民間事業者との意見交換会の開催(2月)

2017年12月  
共生社会ホストタウンの第一陣に指定される

あかしユニバーサルモニター制度スタート(2月～)

市民参加型のパラスポーツ体験交流イベントを実施(3月)



## 2018 (平成 30 年度)

中核市移行(4月)  
市内6カ所に地域総合支援センターを開設(4月)

あすくりーむの家開設(4月)

あすくによる障害者ピア相談スタート(5月～)

こころのケアねっと会議開催(7月～)

あかしユニバーサル交流会(東京パラリンピック2年前イベント)開催(8月)

## 2019 (平成 31 年度)

パラスポーツ体験もできる総合福祉センター新館オープン(4月)

民間事業者を対象とした公的助成制度の拡充の検討

市内全小学校でのパラスポーツを通じた障害理解プログラムスタート(4月～)

東京パラリンピック1年前イベントの開催(8月)

やさしいB-1グランプリ(全国大会)の実施(11月)

市制施行100周年

## 2020

明石市立市民病院横に(仮称)ユニバーサル歯科診療所の開設(4月)

東京オリ・パラ(7月～9月)

共生社会ホストタウンとして海外パラリンピアンとの交流事業(車いす卓球での交流)を実施(9月)

## 2030

誰もが安心して暮らせるやさしいまちあかし

誰ひとり取り残さないインクルーシブ社会

2020年7月～9月  
東京オリンピック・パラリンピック開催

2019年11月  
市制施行100周年

2020年4月  
(仮称)あかしインクルーシブ条例施行

(仮称)あかしインクルーシブ条例制定(12月)



### 国連のSDGs

持続可能な開発目標 2015～2030

体制の見直しと準備

手話言語の確立とコミュニケーションの促進

障害者差別の解消と当事者参画の推進

まちづくり全般に関わる部署横断的な取組

持続可能な取組へ